JTUC
連合高知
<発行所>連 合 高 知
日本労働組合総連合会高知県連合会
〒780-0870 高知市本町４丁目1-32
こうち勤労センター内
TEL(088)824-5111
FAX(088)824-3002
<発行責任者>折 田 晃 一
No.111 2017年７月28日

男女平等月間の取り組み

連合高知は、今年「連合高知第４次男女平等参画推進計画」第２段階の最終年であり総括作業を進めているところであり、６月の男女平等月間にあわせて、さまざまな取り組みを行った。

【女性のための労働相談ホットライン】～職場のモヤモヤありませんか？～

2017年６月12日（月）～13日（火）２日間、女性相談員による女性のための労働相談ホットラインを実施し、働く女性からの相談に対応した。また、６月８日（木）には、労働相談ホットラインの「事前告知」として、執行部・男女平等参画推進委員会・女性委員会・青年委員会の参加により、ビラ配布による街頭宣伝行動を実施した。合わせて、テレビCMの放映と、県内スーパーに設置している無料クッキングペーパーにも広告掲載を行った。

相談件数は、２日間で３件であり、セクハラ１件、労働条件および人間関係が１件、その他１件であった。

〈女性のための労働相談　街頭宣伝行動〉

〈女性のための労働相談〉

【2017年男女平等参画推進フォーラム】～LGBTの職場における課題～

〈2017年男女平等参画推進フォーラム〉

6月17日（土）13時30分より、高知サンライズホテルにおいて「連合高知2017年男女平等参画推進フォーラム」を開催し、88名が参加した。今年度は、特定非営利活動法人ReBit代表　薬師様ほか1名の講師を迎え「LGBTの職場における課題」について講演いただいた。

性は男女だけではなく、体の性・心の性・好きになる性など複雑であること、13人に1人はLGBTであること、職場では人間関係・ハラスメント、制度・福利厚生、設備などの男女わけなどLGBTにとっての困りごとが多く存在していることなどを改めて認識した。

また、講師のお二人の幼少期からの様子や、学生時代の性に対する悩みなどご自身の経験からも問題提起があった。

LGBTも働きやすい職場のために、①支援体制を整える、②制度・対応を検討する、③社内に理解を広げる、④バッチや認定マークなど理解を可視化することが必要であり、何よりLGBTの理解者であることが重要である。

お二人からの講演後は、参加者同士で講演内容についてディスカッションし講師へのいくつかの質問などが出され意見交換を行った。

【四国電力労組高知支部ランチミーティング】

〈四国電力労組　ランチミーティング〉

2017年6月29日（木）四国電力高知支店において、連合高知女性委員会は、単組女性組合員の集会に参加し「連合高知女性委員会の存在･活動を知ってもらう」「働く女性の生の声を拾っていく」観点から、訪問・対話活動を実施した。

限られた時間ではあったが参加者（女性組合員21名）と意見交換を行なうなど、初の試みであり貴重な機会となった。

【高知労働局への要請・意見交換会】

2017年6月30日（金）男女平等参画推進委員会・女性委員会は、高知労働局　雇用環境・均等室に対する要請行動を行った。働く女性が増えるなか、誰もが働き続けることができる社会づくり、職場づくりが重要である。

今回の要請には、今年1月改正の「改正育児・介護休業法」、4月改正の「次世代育成支援対策推進法」の内容周知や支援体制強化を盛り込んだ。

〈労働局への要請・意見交換会〉

今後も、雇用環境・均等室と連携をはかりながら誰もが働きやすい環境づくりに努めていく。

連合高知第56回地方委員会

“賃上げ・底上げ”の流れをとめるな！

連合高知は、7月10日（月）高知会館にて、第56回地方委員会を開催した。

開催にあたり折田会長は、「先週発生した九州北部豪雨災害にて、お亡くなりになられた方々、また被害に遭われた方々に謹んでご冥福、お見舞いを申し上げる。また、支援活動に対しては、各関係部署と連携を取りながら、出来る限りの支援を行っていきたいと考えている。

次に、ルネサス高知工場の閉鎖問題については、ルネサス労組と緊密に連携を取りながら、当該の労組・組合のためにできる限りの力を尽くしたい。

運動課題について、2017春季生活闘争の状況は、高知県においても、本年は特に30人未満の小さな組合の健闘が顕著であり、全国との地域間格差や規模間格差に一定の歯止めをかけたと評価できる。しかし、あらゆる世代の貧困問題が深刻化しており、すべての働く人々の暮らしの底上げをめざした運動を前進させていき、秋季生活闘争から2018春季生活闘争につなげていくこと、最低賃金引き上げを実現することを追求していきたい。

また、‘働き方改革’に関しては、運動の中心課題に据え総力を挙げて取り組んでいく。

最後に、政策・政治課題について、この間の自民党一強体制のもと、強権的で乱暴な政治が進められてきたが、ついに第193回通常国会で国民総監視社会への大きな一歩となる共謀罪法案が成立させられた。そのような情勢のもと、7月2日投票で実施された東京都議選において、自民党は歴史的惨敗を喫した。自民党・安倍一強体制は大きく揺らいだと言える。しかしながら、問題は民進党も敗北を喫したことであり、政権批判の受け皿となり得なかったことは重く受け止めなければならない。当面私たちは、いつ解散されても直ちに対応でき準備を進めながら、高知１区「大石宗」、高知２区「広田一」両候補の勝利に向けて取り組んでまいりたい」と訴えた。

○第１号議案　役員の交代について

○第２号議案　2017春季生活闘争の中間総括

質疑・応答を行い全ての議案を承認・採択した。

質疑・応答

○新聞への意見広告掲載や、クラシノソコアゲキャンペーン街頭活動などの取り組みは大変評価できる。非正規労働者や未組織労働者など交渉の術が無い労働者に対して、最低賃金引上げなど年間通して継続した取り組みをお願いしたい。

●組織された我々が社会へ発信していくことが重要である。そのなかで一点紹介すると、地域ユニオン（30名位）に加盟した組織が、地域ミニマム資料などを参考にしながら初めて0.7カ月賞与を獲得した好事例などがある。今後も継続して社会の発信に努めていく。

○ルネサス高知工場閉鎖に関して、連合高知としてどのような取り組み・力添えをしていけるのか。数年前、運輸関係の不当解雇案件の際には、署名を集めるなど大変お世話になった。今回、連合傘下の仲間として、何かできることがあれば言っていただきたい。

●現在、県が中心となって他企業の高知進出や従業員の地元再雇用などに向けて尽力しているところである。併行して、ルネサスの労使間では、県外工場への配置転換をはじめ諸条件について真摯な労使協議を重ねていくこととしている。連合高知としては、今後ともルネサス労組と緊密な連携を図り、当該労組の意向を踏まえながら、できうる限りの支援をしていきたいと考えている。

【平和行動 in 沖縄】

2017平和行動のスタートとして、「2017平和行動in沖縄」が６月23日（金）～24日（土）の日程で開催され、連合高知からは事務局を含めて９名参加した。

６月23日（金）に開催された「2017平和オキナワ集会」には、全国の地方連合会と構成組織から約1,000名が集結し、平和式典では「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を政府に改めて強く求める平和アピールが採択された。

６月24日（土）には、連合沖縄青年委員メンバーがガイドを務める「ピース・フィールドワーク」が開催され、参加者がそれぞれのコースに別れて参加した。フィールドワーク終了後、沖縄県庁県民広場で「在日米軍基地の整理・縮小」「日米地位協定の抜本的見直し」を求める集会とデモ行進に参加し、全ての行動を終えた。